

再評価結果（平成27年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：茅野 牧夫

事業名	一般国道58号 浦添北道路 <small>うらそえきた</small>		事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局									
起終点	自： <small>おきなわけんぎのわんしうちどまり</small> 沖縄県宜野湾市宇地泊 至： <small>おきなわけんうらそえしみながわ</small> 沖縄県浦添市港川				延長	2.0km									
事業概要	浦添北道路は、沖縄西海岸道路の一部を形成し、交通渋滞緩和や那覇空港・那覇港へのアクセス向上に資する。また、那覇都市圏の交通混雑緩和を目的に計画された2環状7放射道路として、浦添市周辺の渋滞緩和・地域交流の促進に寄与する道路である。														
H18年度事業化	H17年度都市計画決定	H20年度用地着手	H22年度工事着手												
全体事業費	約304億円	事業進捗率	58%	供用済延長	0km										
計画交通量	27,000台/日														
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 2.4 (残事業) 12.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 60/304億円 (事業費：52/297億円) (維持管理費：7.5/7.5億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 731/731億円 (走行時間短縮便益：629/629億円) (走行経費減少便益：75/75億円) (交通事故減少便益：27/27億円)	基準年 平成26年											
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">(事業全体) 交通量変動</td> <td style="width: 33%;">B/C = 2.1~2.6 (交通量±10%)</td> <td style="width: 33%;">(残事業) B/C = 10.9~13.4 (交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費変動</td> <td>B/C = 2.4~2.4 (事業費±10%)</td> <td>B/C = 11.3~13.5 (事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間変動</td> <td>B/C = 2.3~2.5 (事業期間±20%)</td> <td>B/C = 11.9~12.7 (事業期間±20%)</td> </tr> </table>						(事業全体) 交通量変動	B/C = 2.1~2.6 (交通量±10%)	(残事業) B/C = 10.9~13.4 (交通量±10%)	事業費変動	B/C = 2.4~2.4 (事業費±10%)	B/C = 11.3~13.5 (事業費±10%)	事業期間変動	B/C = 2.3~2.5 (事業期間±20%)	B/C = 11.9~12.7 (事業期間±20%)
(事業全体) 交通量変動	B/C = 2.1~2.6 (交通量±10%)	(残事業) B/C = 10.9~13.4 (交通量±10%)													
事業費変動	B/C = 2.4~2.4 (事業費±10%)	B/C = 11.3~13.5 (事業費±10%)													
事業期間変動	B/C = 2.3~2.5 (事業期間±20%)	B/C = 11.9~12.7 (事業期間±20%)													
事業の効果等	<ol style="list-style-type: none"> ①円滑なモビリティの確保 <ul style="list-style-type: none"> ・損失時間の削減が見込まれる。 ・現道における混雑時旅行速度の改善が期待される。 ・現道の路線バスの利便性向上が見込まれる。 ②物流効率化の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・重要港湾（那覇港）へのアクセス向上が見込まれる。 ③国土・地域ネットワークの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・県庁所在地（那覇市）へのアクセスが向上。（那覇市～北谷町） ④個性ある地域の形成 <ul style="list-style-type: none"> ・那覇空港から沖縄コンベンションセンター・アメリカンビレッジへのアクセスが向上。 ⑤地球環境の保全 <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑥生活環境の改善・保全 <ul style="list-style-type: none"> ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。 														
関係する地方公共団体等の意見	【沖縄県知事】 浦添北道路は、ハシゴ道路ネットワークを形成する沖縄西海岸道路の一区間であり、国道58号の渋滞緩和や那覇空港・那覇港へのアクセス性向上に大きく寄与する重要な幹線道路と認識している。 臨港道路浦添線と併せて、当該道路が供用されると、那覇空港から宜野湾市までの西海岸沿いの道路が繋がることになり、様々な効果が期待できることから、早期の全線暫定供用が必要である。 このため、対応方針（原案）のとおり事業継続に同意する。														
事業評価監視委員会の意見	対応方針（原案）に対して審議を行った結果、「事業継続」で了承された。														

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・ 国道58号の交通量は70,000台/日以上あり、慢性的な渋滞が発生している。
- ・ 牧港補給地区跡地利用基本計画が平成25年度に策定された。
- ・ 道路整備や基地跡地利用の進展により、流出入する交通量の増加が想定される。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・ 平成18年度に事業化、用地進捗率66%、事業進捗率58%（平成26年3月末時点）。

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・ 平成20年代後半の全線2車線開通に向け事業を継続中

施設の構造や工法の変更等

- ・ 仮設工（フィルターユニット）を防護するための消波ブロックについて、北部国道事務所より流用することでコストを縮減

対応方針（原案）

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

位置図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。